款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	1	勤労者会館運営費	1,205 千円	911 千円	250～251

【商工振興課】

○勤労者会館運営費　　911 千円

勤労者の文化の向上と福利厚生を図るため、勤労者会館を運営し、有効活用を図りました。

令和 5 年度　利用状況	利用回数（回）	利用人数（人）
大ホール	3	89
中ホール	3	74
小ホール	27	333
会議室Ａ	131	1,148
会議室Ｂ	23	157
合　　計	187	1,801

（参考）令和 4 年度　　131 回　　1,563 人
　　令和 3 年度　　99 回　　1,249 人

【使用料収入】　令和 5 年度　914 千円
　　令和 4 年度　890 千円
　　令和 3 年度　805 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
5	1	2	労働諸費	13,709 千円	13,306 千円	250～251

【商工振興課】

○シルバー人材センター運営費補助金　　13,306 千円

高齢者の就業その他多様な社会参加活動を援助し、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進及び活力ある地域社会づくりに寄与しているシルバー人材センターの運営費の一部を補助しました。

≪事業実績≫

年度	受託件数（件）	就業延人員（人）	受注契約額（千円）	会員数（人）
R5	1,928	5,958	122,561	237
R4	2,118	6,332	121,043	242
R3	2,153	6,406	128,972	264

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	1	農業委員会費	48,312 千円	46,289 千円	250～255

【農業委員会】

○農業委員会の体制

農業委員　　定数 19 人　実数 19 人

任期　令和 5 年 7 月 20 日～令和 8 年 7 月 19 日

農地利用最適化推進委員　定数 19 人　実数 19 人

任期　令和 5 年 7 月 20 日～令和 8 年 7 月 19 日

○３か年の申請許可状況

◇農地法に基づき受理及び審議承認した農地転用等件数

（面積：㎡）

年度／種別	R3 年度		R4 年度		R5 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
３条(農地として活用…所有権移転、耕作権の設定)	43	80,300	28	40,237	48	53,050
４条(農地の転用…自分名義)	12	4,856	8	8,355	5	4,834
５条(農地の転用…他人名義の農地を売買又は貸借して)	59	48,914	41	34,937	53	32,617

◇農業経営基盤強化促進法による申請件数

（面積：㎡）

年度／種別	R3 年度		R4 年度		R5 年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積
貸借（新規）	49	126,769	44	118,446	30	82,312
貸借（更新）	97	210,683	98	214,404	76	229,052
所有権移転（売買等）	29	42,159	30	54,853	29	65,528

※農業経営基盤強化促進法…農業経営の規模拡大や合理化を進めていく意欲のある農業経営者（認定農業者等）支援のための法律で、農地法の許可を受けずに農地の貸し借り等ができる制度

○農業者年金業務事業　　238 千円

農業者年金は、農業者年金基金法に基づく農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を目的とした年金制度であり、農業者年金基金から委託を受け事務を行っています。

新規加入者申込届や裁定請求書、現況届などの届出書の受付、農業委員・農地利用最適化推進委員による加入対象者への周知及び加入推進活動を行いました。

区　分　　年　度		R3 年度	R4 年度	R5 年度
年金受給者　　（人）		449	432	429
被保険者　　（人）		180	184	180
届出受付件数（件）	新規加入者申込	10	8	11
	死亡・脱退届受付	37	35	34
	経営移譲年金請求（旧制度）	1	0	0
	老齢年金請求（旧制度）	9	5	6
	特例付加年金請求（新制度）	1	0	1
	老齢年金請求（新制度）	18	15	11

○機構集積支援事業　　328 千円

農地中間管理機構が担い手への農地の集積・集約化を促進するに当たって、農業委員会が関連する事業を実施しました。

・農地利用状況調査……市内全域の農地を、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局・農林課と共にパトロールを実施し、遊休農地の把握を行いました。

・農地利用意向調査……遊休農地所有者に対して意向調査を行い貸借等の斡旋や、遊休農地の解消に努めました。

・遊休農地面積……20.5ha（前年 19.6ha）

○農地利用最適化交付金事業　　2,908 千円

農地等の利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等）の推進に係る活動の実績に応じ、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ報酬を支給しました。

委員等及び委員会の活動実績に応じた交付金　2,908 千円

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	3	農業振興費	242,554 千円	207,277 千円	256～265

【農林課】

○雇用労力支援システム事業　　5,071 千円

担い手農家の規模拡大等に必要な労働力を安定的に確保するためには労力支援システムの構築が必要であることから、農援隊を組織する農協に対し補助を行いました。

事業の成果としては、農作業労力支援システムの活用により労力不足を解消し農業経営の安定に繋がりました。

受益戸数	154 戸
利用日数	3,170 日
事 業 費	40,824 千円（うち補助対象事業費：10,143 千円）
負担割合	市：1/2、農協：1/2

○種馬鈴薯産地維持対策費補助金　　1,328 千円

種馬鈴薯の生産は、食用馬鈴薯の安定的な生産と供給のために不可欠であり、かつ、種苗増殖の起点となる健全無病な原原種または原種の購入は必須であることから、その購入費の一部を支援し、品質の安定化と収量の向上に繋がり、産地維持が図られました。

事業内容	植物防疫法に基づく検査に合格した原原種及び原種の種子購入に対する一部支援
作付面積	1,460a（春作 760a、秋作 700a）
補 助 率	市：1/5 以内

［種馬鈴薯生産ほ場］

［収穫風景］

○産地生産基盤パワーアップ事業　　60,903 千円

水田・畑作・野菜・果樹・花き等の産地が創意工夫を活かし、地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づいて実施する競争力の強化や産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援しました。

受益戸数	スイカ･スイートコーン等　８戸
事 業 量	連棟ハウス（スイカ･スイートコーン等）1.07ha
事 業 費	スイカ等 123,530 千円（うち補助事業対象事業費：121,810 千円）
補 助 率	国：1/2

〔連棟ハウス〕

〔連棟ハウス〕

○有害鳥獣対策事業　　9,775 千円

農業収益の低下を招く有害鳥獣による被害を防止するため、対策の一環として猟友会へ捕獲を委託し、実施しました。

また、イノシシの畑への侵入防止を目的としてワイヤーメッシュ柵の整備を行いました。

加えて、有害鳥獣捕獲従事者の育成を図るため、狩猟免許取得支援を行いました。

事業の成果として、有害鳥獣であるイノシシ等による農作物被害の軽減に繋がりました。

・有害鳥獣捕獲等実績

イノシシ	イノシシ以外の獣	カ ラ ス	WM柵設置長
525 頭	61 頭	368 羽	729m

［イノシシの捕獲］

［WM柵］

【耕地水産課】

○土地改良事業経費　　11,818 千円

土地改良区及び土地改良区が加入している合同事務所の運営基盤強化のため、運営費に対して補助を行いました。

・島原深江土地改良区補助金　　1,904 千円

・島原市土地改良区合同事務所補助金　9,914 千円

（三会原土地改良区、川内土地改良区、柏野・佐野土地改良区、宇土山土地改良区、一野土地改良区）

○農業経営高度化支援事業　　40,000 千円

基盤整備事業実施地区において、地区の担い手の育成や農地集積を促進するため、地区の担い手への農地集積率に応じた総事業費の一定割合額を農家負担（借入金）の繰上償還を行うため交付し、農家の負担軽減に寄与しました。

実施地区名	交付金額	補助率
三会原第 3 地区	40,000 千円	国：55%　県：45%

【農林課】

○地域計画策定推進緊急対策事業　　258 千円

これまでの人・農地プランを基礎として、農業者等の協議の結果を踏まえ、地域の農業の将来の在り方や農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標（目標地図）などを定めた「地域計画」を令和 7 年 3 月までに策定するため、関係機関と連携して地域農業者へ地域計画の制度説明や周知を行いました。

対象地区数	農業振興地域内の 5 地区（安中、杉谷、三会、大三東、湯江）
対象地区内農用地等面積	1,792ha
事業費	258 千円
補助率	国：10/10

○経営開始資金　　4,500 千円

次世代を担う農業者となることを志向するものに対し、就農直後の経営確立に資する経営開始資金を交付することにより、農業への人材の定着を図りました。

交付対象者	3 人（令和 4 年度開始分）
支援（補助）額	4,500 千円（1,500 千円×3 人）
補助率	国：10/10

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	5	農地費	495,693 千円	291,566 千円	266～273

【耕地水産課】

○県営事業費負担金　　104,309 千円

県営の畑地帯総合整備事業（三会原第３地区）ほか８件に対し、負担金を支出しました。

（千円）

事 業 名	箇所名	事 業 内 容	事業費	負担金	小計
県営畑地帯総合整備事業（R4 年度繰越）	三会原第３地区	付帯工事、測量、換地	21,000	2,415	85,959
県営畑地帯総合整備事業（R4 年度繰越）	三会原第４地区	測量、設計、換地、区画整理、畑地かんがい	650,000	74,750	
県営畑地帯総合整備事業	三会原第４地区	測量、設計、換地、区画整理、畑地かんがい	40,500	4,658	
県営畑地帯総合整備事業（R4 年度繰越）	中原・寺中地区	測量、設計、換地	18,200	2,184	
県営畑地帯総合整備事業	中原・寺中地区	測量、設計、換地	12,670	1,520	
県営畑地帯総合整備事業	一野地区	測量、設計、換地	3,600	432	
県単独土地改良調査費	東大地区	計画書修正	3,831	1,149	1,149
県営ため池整備事業	寺中ため池 植松ため池	改修工事	117,320	12,905	12,905
県営水利施設等保全高度化事業実施計画策定事業費負担金（R4 年度繰越）	東大地区	計画書作成	19,091	4,296	4,296
		計	886,212	104,309	104,309

着工前

着工後

○需用費（修繕料）　16,480千円

農業用の道路や河川等の施設において、破損箇所の補修や改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

工　種　名	件数（件）	支出額（千円）
農道修繕	22	5,369
用排水路修繕	33	11,111
計	55	16,480

【温泉屋敷地区水路修繕】

着　工　前

竣　　工

○工事請負費　110,604千円

農業用施設である農道や河川等の用排水路の改修を行い、利用者の安全性や利便性を高めました。

（単位：件数（件）、支出額（千円））

工　種　名	件数	支出額
ため池浚渫工事 ・深底ため池浚渫工事　・松之沢ため池浚渫工事	2	26,191
農道・水路等改修工事 ・寺中川護岸改修工事　・中河水路改修工事 ・原口町里道防護柵設置工事　・広域農道舗装改修工事 ・農道上長貫線路肩改修工事	5	84,413
計	7	110,604

【松之沢ため池浚渫工事】

着　工　前

竣　　工

【原口町里道防護柵設置工事】

着　工　前

竣　　工

【農道上長貫線路肩改修工事】

着　工　前

竣　　工

○原材料費　　1,521 千円

公図上にある農道の舗装打設や用排水路の漏水対策で自然排水路の改良などの必要性が高く、受益者等が自ら施工できるものに対し、生コンなどの資材を支給又は購入し、営農の効率化や安全性の向上を図り、農業経営の安定化に寄与しました。

工 種 名	件数（件）	支出額（千円）
生コンクリート	3	1,409
道路舗装補修材	1	112
計	4	1,521

着　工　前

竣　　工

○多面的機能支払交付金　　34,607 千円

農業者や地域住民が参加する活動組織による農業用施設の維持管理や地域の生態系保全、景観形成などの活動に対し交付金を交付しました。

	広域組織数	面積（ha）	交付金額（千円）	負担割合（%）		
				国	県	市
農地維持支払交付金	1	715	15,206	50%	25%	25%
資源向上支払交付金（共同活動）	1	715	8,373	50%	25%	25%
資源向上支払交付金（長寿命化）	1	638	10,428	50%	25%	25%
広域活動組織運営交付金	1	―	600	0%	0%	100%
計	1		34,607			

ため池の草刈の状況

農地を利用した景観形成活動の状況

農道路肩の補修の状況

水路の改修の状況

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	1	6	農村環境施設管理運営費	26,495 千円	23,782 千円	272～277

【農林課】

下記の施設・設備等の保守・管理を行い、利用しやすい環境づくりを行いました。

○農村環境改善センター管理運営費　　4,297 千円

○有明農業者トレーニングセンター管理運営費　　1,531 千円

○有明農林漁業体験実習施設（舞岳山荘）管理運営費　　17,954 千円

▼利用者数　　（単位：人）

施設名	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
農村環境改善センター	9,186	10,074	10,069	12,024
有明農業者トレーニングセンター	17,148	12,367	15,769	16,236
舞岳山荘	1,959	2,273	3,488	4,690
計	28,293	24,714	29,326	32,950

＜農村環境改善センター＞

＜トレーニングセンター＞

＜舞岳山荘＞

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	2	2	林業振興費	23,049 千円	15,629 千円	278～281

【農林課】

○松くい虫対策事業　　2,261 千円

松林を松くい虫から保護するため、被害木の伐倒駆除処理を行い、松林の健全な育成と保全に繋がりました。

実施場所	有明町水之出口地区、湊島、秩父が浦
事 業 量	伐倒駆除：126 本

○市有林整備事業　　440 千円

市有林の健全な育成と適正な管理を図るため、下刈り・枝払い等を行い、森林環境や生活環境の保全に繋がりました。

区　　分	面　積
市有林管理（下刈等）	2.83ha

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	2	水産業振興費	33,081 千円	26,489 千円	280～285

【耕地水産課】

○活力ある海づくり事業費補助金　　2,112 千円

（有明漁協：673 千円　島原漁協：1,439 千円）

有明海の漁業資源の回復を図るため、種苗放流事業を行う有明海栽培漁業推進協議会に加入する有明漁協・島原漁協に対し補助を行いました。

（市補助率 75%：漁協負担金の 75%を補助）

・放流実績（諫早湾漁協から島原半島南部漁協までの８漁協合計分）

（単位：尾）

魚種	ガザミ	クルマエビ	カサゴ
尾数	100,000	1,450,000	30,000

カサゴ放流状況

ガザミ放流状況

○漁業と漁村を支える人づくり事業費補助金　　3,500 千円

担い手の定着促進のため、就業定着意欲のある者に対する研修費等を助成し、担い手の確保育成を図りました。（負担割合：県 50%、市 50%）

・漁業就業実践研修事業【新規就業者の生活費等】

【令和 5 年度実績】

研修者：4 人、指導者：2 人　3,500 千円

○水産多面的機能発揮対策事業負担金　　2,403 千円

島原地区及び有明地区環境・生態系保全活動組織が、藻場・干潟の機能の維持・回復を図る取り組み相当分に対し、長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会に負担金を支出しました。

（負担割合：国 14/20、県 3/20、市 3/20　※海難救助訓練は国費 100%）

（千円）

活動組織	内容及び事業費		国		県	市
	内容	事業費	14/20	20/20	3/20	3/20
島原地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,958.4	1,370.88		293.76	293.76
	2. 干潟の保全	4,569.6	3,198.72		685.44	685.44
	3. 漂流・漂着物除去	2,937.6	2,056.32		440.64	440.64
	4. 海難救助訓練	384		384		
小　計		9,849.6	6,625.92	384	1,419.84	1,419.84
有明地区環境・生態系保全活動組織	1. 藻場の保全	1,344	940.8		201.6	201.6
	2. 干潟の保全	3,824	2,676.8		573.6	573.6
	3. 漂流・漂着物除去	1,904	1,332.8		285.6	285.6
小　計		7,072	4,950.4	0	1,060.8	島原市分 982.7 （雲仙市分 78.1）
合　計		16,921.6	11,576.32	384	2,480.6	島原市分 2,402.5 （雲仙市分 78.1）

島原地区ヒジキセラポラ設置

有明地区アマモ移植

島原地区ヒジキ繁茂状況

有明地区アマモ保護土のう作製

○県営水産環境整備事業負担金　　2,426 千円

有明海沿岸地区において海底耕耘を実施するとともに、底質が悪い諫早湾において、耕耘と合わせ貝殻等を散布し、底質の改善に取り組むことにより、底棲生物の生息環境を改善し、漁場の生産能力向上と漁獲の増大を図りました。

県営水産環境整備事業の主な内容

・有明海沿岸地区（諫早市、雲仙市、島原市、南島原市）において、漁船を使用して、貝桁による海底耕耘作業等を実施しました。

海底耕耘実施面積　17 ㎢、測量試験 1 式

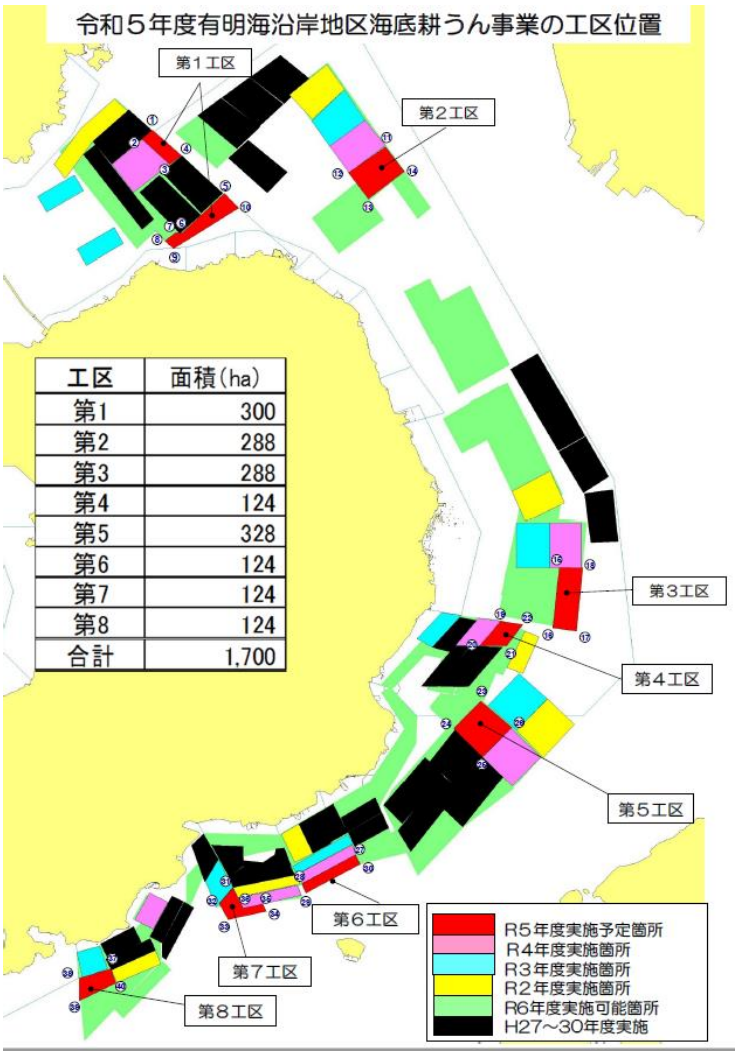
事業費　140,000 千円

（負担割合：国 50%、県 45%、市 5%）

島原市の負担金算出方法

・事業費×5%（4 市負担金割合）×（島原市の作業船：690 隻／4 市の作業船：1991 隻）

＝140,000,000 円×5%×690／1991 隻＝2,425,915 円



工区	面積(ha)
第1	300
第2	288
第3	288
第4	124
第5	328
第6	124
第7	124
第8	124
合計	1,700

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
6	3	3	漁港管理費	68,844 千円	44,204 千円	284～287

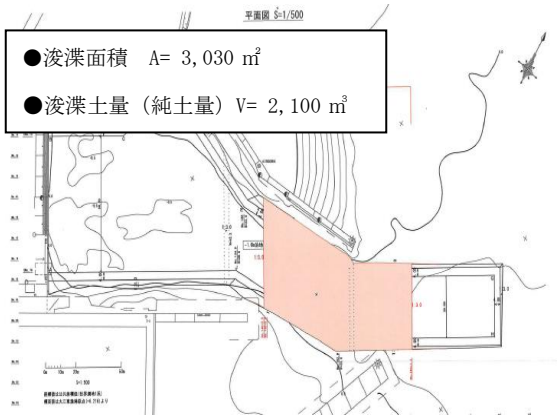
【耕地水産課】

○水産物供給基盤機能保全事業　　30,911 千円

水産物供給基盤機能保全事業基本計画に基づき、漁港機能の安全確保と延命化を図るため、大三東漁港の泊地浚渫工事を行いました。

【事業概要】

・大三東漁港水域施設機能保全工事（浚渫工事）　30,911 千円
・工期　令和 5 年 3 月 28 日～令和 5 年 9 月 29 日（債務負担行為による契約）
・事業期間　令和 5 年度
・全体事業期間　令和 5 年度～令和 6 年度
・全体事業費（予定）　120,911 千円
・補助率　国 1/2



款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	2	商工業振興費	202,897 千円	188,330 千円	286～295

【商工振興課】

○中小企業振興利子補給等補助金　　221 千円

市内中小企業に利子補給及び保証料補給を行い、経営の改善と産業の発展に寄与しました。

補助件数　　4 件

内訳）中小企業振興資金：4 件

○島原城大手門市　　1,703 千円

島原市役所大屋根広場、周辺商店街及び島原駅一帯を中心としたイベントを企画し、地域を巻き込んだ物産市を開催することにより中心市街地の活性化に寄与しました。

- ◆ イベント名：島原城大手門市
- ◆ 開催期間：令和 5 年 10 月 14 日（土）～令和 5 年 10 月 15 日（日）
- ◆ 実施主体：島原城大手門市実行委員会
- ◆ 来場者数：約 13,000 人（2 日間累計）
- ◆ 出店者数：70 店舗（2 日間累計）

○商店街等を核とする地域のにぎわい創出支援事業　　1,408 千円

商店街が作成した商店街活性化プランに基づく取り組みを推進するため、商店街がにぎわい創出のために実施した事業に対し、支援を行いました。

総事業費に対する負担割合：県費 4/10、市費 4/10、事業者 2/10

補助件数　1 件（島原市中堀町商店街協同組合）

○企業誘致活動事業　　10,874 千円

企業誘致の候補地である杉谷運動広場周辺の適地調査として、工業用水の供給能力に関する水量・水質の調査を実施し、誘致候補地の調査を行うとともに、企業誘致への情報収集に努めました。

また、「島原でしてみんねテレワーク支援事業補助金」については、東京都の 2 社 5 人が本補助金を利用し、お試しテレワーク体験を実施するとともに、長崎県との共同により首都圏等から 2 社 11 人のワーケーションの受け入れを行いました。

○サテライトオフィス等開設支援事業　　643 千円

令和３年度に本事業によって開設したコワーキングスペースの運営事業者へ、建物の賃借料並びに通信費に対する補助を行いました。

○企業立地促進・雇用創出事業　　2,635 千円

令和 2 年に審議会で指定された事業者に対して、立地奨励金、土地家屋賃借奨励金を補助しました。なお、当該案件により新たに 50 人の雇用が創出されております。

R5 年度　　（千円・人）

業種	投下固定資産額	新規雇用者数	奨励金種別				年度計
			立地	施設整備	土地家屋賃借	雇用	
製造業（1 件）	15,690	0	1,233	－	1,402	－	2,635

■支援メニュー

立地奨励金	取得した固定資産額にかかる固定資産税相当額を３年間補助 （改修の場合は対象外）
施設整備奨励金	投下した固定資産額（土地代を除く）の取得額又は改修に要した経費に新規雇用者の数に応じて一定の率（5%～10%）を乗じた額を補助 ※限度額　1 億円（改修の場合 2 千万円）
土地家屋賃借奨励金	土地・家屋賃借料の 25%を 3 年間補助　※限度額 1 千万円／年
雇用奨励金	新規雇用した人数に対する補助 ・正規雇用者×50 万円／人　・短期雇用者×25 万円／人 ※限度額　5 千万円

○雇用拡大支援事業　　1,800 千円

市内の事業所に就職した新規学卒者やＵＩターン者（若者）に対する支援を行い、若者の定住を促進しました。

新規学卒者：10 人　　Ｕターン者：10 人　　Ｉターン者：3 人　　合計 23 人

○地場産業事業拡充促進事業補助金　　3,430 千円

市内における雇用機会の拡充を行い、定住、定着、移住の促進を図るため、地域の課題解決を図り、雇用増に直接寄与する生産能力の拡大、商品・サービスの付加価値向上等の事業拡充を行う小規模事業者へ支援を行いました。

補助金の財源負担割合：国費 1/2、県費 1/4、市費１/4

補助件数　１件

○創業支援等利子補給事業　　375 千円

創業関係融資を受けた創業者に利子補給補助を行い、創業時における負担軽減を図りました。

補助件数　10 件

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	3	観光費	342,977 千円	308,008 千円	294～305

【しまばら観光課】

○観光宿泊施設支援事業　　13,517 千円

観光の振興と地域の活性化を図るため、温泉給湯事業を利用するホテル・旅館等が実施する宣伝ＰＲや地元の食材提供などに要する経費を対象として支援を行いました。

○島原城築城 400 年武将隊 PR 事業　　14,920 千円

演舞披露や甲冑体験、情報発信、ＰＲ活動などを行い、城下町島原のイメージ定着化を目指しました。

また、新商品開発やＰＲグッズの開発も行い、令和 6 年に迎える島原城築城 400 年に向けた機運醸成に努めました。

島原城の入場者数は新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和を受け、約 189,000 人と前年度より約 24%増加しました。

島原城内での武将隊による観光客へのおもてなしは、大変好評であり、島原での旅の満足度向上に寄与しました。

島原城七万石武将隊

○鯉の泳ぐまち魅力アップ事業　　3,000千円

国登録有形文化財「旧三村家(湧水館)」を活用し古民家喫茶事業を行うことで、観光客は館内でゆっくりと時間を過ごすことができ、滞在時間の延長及び観光消費額拡大を図りました。

令和5年度入館者数と運営収入

入館者数	19,355人
喫茶事業（店内、テイクアウト）	8,335,450円
かんざらし手作り体験教室	208,800円
物販	289,083円

○島原市スポーツキャンプ等誘致補助金　　5,676千円

交流人口の増加による観光振興や地域の活性化を図るため、プロサッカーチームやフェンシング日本代表チーム、陸上チームのキャンプをはじめ、全国大会等の各種スポーツ大会を誘致しました。

（キャンプ）　　（人）

種　　目	参加者数	延宿泊者数
サッカー（プロサッカー　ほか）	678	1,793
フェンシング（日本代表チーム　ほか）	495	589
野　球（高校　ほか）	198	265
陸　上（実業団）	26	140
その他（剣道、テニス）	34	61
合　　計	1,431	2,848

（大　　会）　　（人）

種　　目		参加者数	延宿泊者数
サッカー	U-18 サッカープリンスリーグ九州	280	48
	九州大学サッカートーナメント大会	410	259
	サマーカップ U-18 サッカー大会 in 島原	400	701
	国際チャレンジ杯 IN 長崎大会	346	42
	BlueWaveU-17 リーグ	40	0
	九州大学サッカーリーグ	360	787
	球蹴男児 U-16 リーグ	60	0
	V・VAREN Nagasaki Fes U-15	419	463
	大学サッカーフェスティバル in 島原	400	1,612
	医学部大学サッカーフェスティバル in 島原	150	66
	九州 JrCUP	600	209
	島原 U-17 サッカーチャレンジカップ	384	686
フェンシング	全国高等学校選抜フェンシング大会	1,000	1,813
	シニア フルーレ ランキングマッチ 島原大会	136	272
	島原 ジュニア・カデ フルーレ ランキングマッチ	500	283
野球	西日本中学硬式野球島原大会	830	1,131
合　　計		6,315	8,372

▲ギラヴァンツ北九州キャンプ

▲西日本中学硬式野球大会

▲全国高校フェンシング大会

○大会・会議等誘致奨励金　　3,745 千円

観光振興及び地域の活性化を図るため、各種大会・会議・研修会等を開催する団体に対して、市内宿泊施設に宿泊した延べ人数等に応じて奨励金の交付を行い、交流人口の拡大を図りました。

区　　分	件数（件）	延宿泊者数（人）	金額（円）
島原市大会・会議等誘致奨励金	47 件	17,819 人	3,745,000 円

○九州オルレ「島原コース」推進事業　　1,669 千円

九州オルレ「島原コース」のコース整備やイベント等による利用促進を行い、交流人口の増加を図りました。

・コース利用者数　3,813 人（令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日）

・イベント参加者数

① 九州オルレフェア　　139 人（令和 5 年 11 月 25 日開催）

② ４周年記念イベント　63 人（令和 6 年 2 月 23 日開催）

「九州オルレフェア」

「４周年記念イベント」

○島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設指定管理料　　22,600 千円

島原城及び鯉の泳ぐまち観光交流施設（鯉の泳ぐまち観光交流センター「清流亭」、しまばら湧水館、湧水庭園「四明荘」）を指定管理者が一元的に管理運営することにより、周遊型観光の促進及び滞在時間の延長を図りました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）			
		島原城	清流亭	湧水館	四明荘
R5	22,600,000	119,925	34,750	19,355	33,007
R4	41,200,000	85,643	29,107	13,187	29,181
R3	55,000,000	68,873	26,193	6,900	18,411
R2	20,000,000	59,319	23,303	6,376	15,148
R元	8,500,000	124,100	39,492	14,790	28,201

○浜の川湧水観光交流施設指定管理料　　0 円

本市特有の観光資源である「湧水」を活用した交流施設として、島原の名物である「かんざらし」等の提供を行うとともに、魅力的な観光スポットとして島原城や鯉の泳ぐまちと併せた周遊化及び滞在時間の延長と交流人口の拡大を図るため、令和 3 年度から管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。令和 5 年度においても、利用者数及び運営収入は増加し、指定管理料 0 円が実現できました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）
R5	0	27,965
R4	0	23,161
R3	1,400,000	19,598
R2		19,076
R元		29,409

○島原温泉ゆとろぎの湯指定管理料　　24,000千円

市民の健康増進や観光客の市内周遊化、中心市街地の活性化を図る目的で建設した温浴施設「島原温泉ゆとろぎの湯」の管理運営を指定管理者に委託し、効果的な運営を図りました。

年度	指定管理料（円）	利用者数（人）
R5	24,000,000	69,641
R4	29,000,000	62,934
R3	23,000,000	52,581
R2	20,000,000	55,114
R元	13,000,000	75,150

○歓迎塔看板交換等業務委託料　　2,691千円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、広く周知を図るため、歓迎塔看板の張り替えやＰＲ看板の設置などを行いました。

・島原城築城400年ＰＲ看板等設置業務　1,100千円
・歓迎塔看板交換等業務　1,496千円
・島原港ロータリー内看板貼り　48千円
・島原城築城400年記念事業PR横断幕作成設置業務　46千円

○島原城築城400年記念事業実行委員会補助金　　9,465千円

令和6年に迎える島原城築城400年に向け、島原城・城下町の歴史や文化を再認識し、次世代に伝承するための事業を実施しました。

・全国城下町シンポジウム　島原大会
（参加者数：約10,000人　令和5年8月25日～27日開催）
・島原城カウントダウン
（来場者：約2,000人　令和5年12月31日～令和6年1月1日開催）
・島原城刀剣展（来場者：3,953人　令和6年1月6日～21日開催）
・島原城四季折々茶会（開催数3回　参加者数：613人）

・出張！なんでも鑑定団ｉｎ島原【公開収録】（来場者：約 900 人　令和 6 年 2 月 25 日開催）
・島原城おさらい展（令和 5 年 8 月 1 日～10 月 19 日開催）
・「島原城まるわかりブック」作成（配布用 1,000 部）
・島原みらいキャンパス（講座回数 5 回、参加人数：179 人）ほか

島原城カウントダウン

島原城四季折々茶会

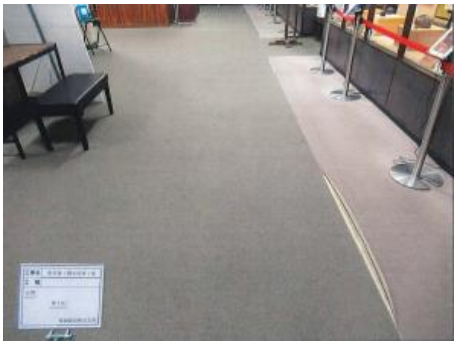
○島原城整備事業　　75,230 千円

令和 6 年に迎える島原城築城 400 年に向け、島原城の景観整備を図るため、島原城高木剪定や天守閣各階床・階段の改修、照明器具の改修などを実施しました。

事業名	金額（円）
島原城天守閣空調設備工事設計業務委託	2,244,000
島原城天守閣空調設備工事設計業務委託 （高圧受変電設備の改修に係る協議検討）	150,700
島原城天守閣フロア改修　付帯モール工事	391,600
島原城天守閣（天井、壁）及び島原城電気室（壁） 石綿分析調査	280,500
島原城櫓除草作業	4,697,000
島原城高木剪定業務	46,962,300
島原城 1 階床改修工事	3,080,000
島原城 2 階床改修工事	2,200,000
島原城 3 階床改修工事	2,640,000
島原城 4 階床改修工事	1,650,000
島原城階段床改修工事	3,454,000
島原城天守閣照明器具改修工事	7,480,000

島原城高木剪定（着工前）

島原城高木剪定（完了）



島原城床改修工事（着工前）

島原城床改修工事（完了）

島原城天守閣照明器具改修工事（着工前）

島原城天守閣照明器具改修工事（完了）

款	項	目	目名	予算額（千円）	決算額（千円）	決算書の頁
7	1	4	ふるさと産業振興費	6,154 千円	3,200 千円	304～309

【商工振興課】

○特産品ＰＲ催事事業費　　1,279 千円

（ホームページ管理活用事業、特産品認定・催事支援事業）

本市特産品のブランド化の一環として、商品の魅力が向上し、消費者に愛される特産品となるよう、各種催事等を積極的に活用した情報発信・ＰＲを行いました。

また、地元百貨店の催事場でのフェアへの継続的な参加を行いながら、福知山市や長崎市での物産展等への参加も行いました。

・物産展等開催・参加回数　6 回
・延べ出展事業者数　17 事業者

第 31 回福知山マラソン
「姉妹都市友好島原物産展」

長崎浜屋百貨店
「島原特産品フェア」

○特産品流通促進事業費　　455 千円

（商談会等開催事業、島原産品プロモーション事業）

本市特産品が都市圏における大手百貨店等において、常備流通商品として定着化が図れるよう、バイヤーと地元生産者が直接面談しアドバイスを受けられる商品相談会及び販促スキ　ルアップのための研修会を開催しました。

有名レストランと連携し、本市産品の生産者とのマッチングによりフェアを開催し、魅力ある本市産品の情報発信を行うとともに、レストランへの販路開拓を図りました。

・バイヤー招聘商品相談会：1 回　参加事業者：6 事業者
・レストランと連携した島原フェア：1 回　参加生産者：10 事業者
・島原スペシャルクオリティ「販促スキルアップ研修会」：1 回　参加生産者：7 事業者

款	項	目	目名	予算額	決算額	決算書の頁
7	1	5	有明の森フラワー公園管理費	28,574 千円	24,213 千円	308～311

【商工振興課】

○有明の森フラワー公園管理経費　　24,213 千円

市民の休養・憩いの場を提供し健康増進を図るとともに、観光交流の場として本市の活性化に資するため設置している島原市有明の森フラワー公園は、令和５年度から直営により花木の管理を行い、令和５年 11 月からは物産館を開館し、地元特産品の紹介と販売を行いました。

・R５物産館利用者（商品購入者）　4,704 人（R5.11 月～R6.3 月）

有明の森フラワー公園

＜花カレンダー（見ごろの時期）＞

花の種類	開花時期
菜の花	3 月～4 月
桜	4 月
パンジー・デージー	4 月
サルビア	5 月～11 月
マリーゴールド	5 月～11 月
コスモス	10 月